

業 務 の 名 称	大量アンサンブル降雨－流出計算データを利用した流路変動解析による河道被災リスクの定量評価手法の構築
業 務 概 要	<p>本研究は、出水時に生じる大規模流路変動、川幅の拡幅に起因する河道内構造物の被災、堤防の流失・決壊、これによる外水氾濫といった侵食リスクを、現在・将来条件において得られた大量アンサンブル降雨－流出計算データ、ならびに想定される土砂流出シナリオや植生、河道条件を考慮した大量の流路変動数値計算により定量的に評価し、このような侵食の影響を合理的に考慮した今後の河道計画に資する技術・知見を得るものである。</p> <p>本年度においては、令和2年度に構築した数値計算モデルを用いて、同年度の分析に基づいて整理した流量ハイドログラフ、河道の地形条件、土砂供給シナリオ等の実験条件設定による河床変動解析を行い、現状の気候下及び気候変動が生じた状況下における河岸や堤防の侵食リスクについて評価を行う。</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 天野 邦彦 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和3年6月9日
契 約 業 者 名	国立大学法人北海道大学
契 約 業 者 の 住 所	北海道札幌市北区北13条西8丁目
契 約 金 額 ( 税 込 み )	¥4,345,000
予 定 価 格 ( 税 込 み )	¥4,345,000－
随意契約によることとした理由	<p>本委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる河川技術評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、令和2年1月、本研究課題及び委託先（北海道大学岩崎理樹を研究代表者とする研究グループ）が選定されたものであり、令和3年3月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、新規採択時の審査基準、選定結果及び令和3年3月の中間評価結果等については、国土交通省水管理・国土保全局ホームページ等で詳細に公表されている。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	－
履 行 期 間 ( 自 )	令和3年6月10日
履 行 期 間 ( 至 )	令和4年3月29日
落 札 率	－
再 就 職 の 役 員 の 数	－
備 考	